

## 会議録

会 議 名	第4回 新郷土資料館整備基本構想・基本計画策定検討会	
日 時	平成28年10月25日(火) 午後18時30分~20時30分	
場 所	クリエイトホール10階第5学習室	
出席者氏名	参加者	新井勝紘、池上裕子、大森映子、小野一之、柿崎博孝、唐沢靖、高橋洋、竹口君夫、内田和隆、及川真由美、本田怜子
	説明者	中正由紀文化財課長(兼 郷土資料館長)、尾崎光二主査
	事務局	中村善行主査、河津美穂子主任、熊切唯主事 (株)丹青社 高橋、小杉、鈴木、丹羽
欠席者氏名	合田恵美子	
議 題	(1)パブリックコメント修正案【資料1】【資料2】 (2)第4章 施設整備の方向性について【資料3】 (3)整備基本計画目次構成について【資料4】 (4)市民アンケート・ヒアリング実施方針(案)【資料5】 (5)その他	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	(1) 会議次第 (2) 【資料1】パブリックコメント修正案(閲覧用) (3) 【資料2】パブリックコメント修正案(配布用) (4) 【資料3】施設構成表(参考) (5) 【資料4】整備基本計画 目次構成(参考) (6) 【資料5】市民アンケート・ヒアリング実施方針(案) (7) 【資料5-2】市民アンケート・ヒアリング項目案 (8) 【資料5-3】小学6年生に対するアンケート用紙構成案	

会議の内容

<開会の挨拶>

事務局：それでは第4回検討会を始める。今回の署名は大森氏にお願いする。

<(1)パブリックコメント修正案について>

座長：それでは会議次第に基づき会議を進めたい。事務局から資料の説明をお願いする。

事務局より、パブリックコメント案の修正箇所を説明。

座長：今回が最終案となるか。

事務局：最終案となる。皆さんからご意見を頂きたい。

参加者 A：整備予定地の箇所に、JR 八王子駅と京王片倉駅から徒歩何分かかかるかを記載して欲しい。

座長：他にご意見が無ければ、今後、パブリックコメントを実施するまでの流れを事務局から説明して欲しい。

事務局：11月に教育委員会の定例会で教育委員や教育長の了解を得た後、11月下旬に都市経営戦略会議に付議し、意見を反映した後、市議会にパブコメを実施することを事前報告し、12月15日から1月15日の期間でパブコメを実施する。頂いた意見に市の考えを加え、基本構想に反映する意見と参考に留める意見に区分する。基本構想をまとめるのは年度末になる予定。

座長：了解。この会では承認し、後は事務局にお任せする。

<(2)第4章 施設整備の方向性について>

事務局：第1回の検討会で提示した基本構想の目次案で、第5章の今後のスケジュールは前回話したが、第4章の施設整備の方向性は、跡地計画の全体的な進捗状況を見ると、今年度中は具体的に決めにくい状況にある。そのため、今回は博物館というのはどのような施設で構成されるかを示し、後日施設見学をしてご意見を頂きたい。場合によっては、この部分を今年度は簡略化し、来年度の基本計画で掘り下げたい。

座長：一般論として最大限の施設構成を提示してもらった。方向性はこの章の中で述べたいと考える。

参加者 B：基本理念で「協創」を掲げているので、協創できる場所が必要。市民や団体が自由に使える市民研究室などを確保しては。

座長：もっともだ。調査研究と教育・普及エリアを統合して協創できるエリアとしても良い。

参加者 C：レクチャールームとあるが、体験的なエリアとして、屋外でも火起こしなどを体験できると良い。学校としては団体対応スペースの規模が気になる。全員でビデオ鑑賞や説明を聴く、班ごとに説明を聴くなど。1クラスは最大40人、1学年は3-4クラスの学校が多い。

会 議 の 内 容

副座長：土器を焼くなどで火を使えるとよいが、火の扱いは規制があるか。

事務局：火起こしは屋内では不可能だが、公共施設では電気窯などは可能な所が多い。屋外で野焼きなどを事前に許可を受け実施する施設もあるが、環境的に苦情が来ることもある。古民家で囲炉裏に火をくべる施設もある。

参加者 C：本施設でも建造物を移築する可能性はあるか。

事務局：移築する民家があれば考えられるが、現段階で話は無い。府中市のケースも知りたい。

座長：府中では、構想段階で古建築の候補を出し、それに合わせて施設構成を計画した。

参加者 B：昭和も歴史になるので、閉鎖する予定の銭湯や織物工場、郵便局などの移築も視野に入れてはどうか。

座長：建物内だけでなく、屋外も含めて活用できると良いという意見が出たが、中長期的に発展する博物館になると良い。

参加者 D：今は、博物館に来る人を前提にしているが、外部からの問合せに対応する場も重要。多摩地域との連携を図り、来ない人からも魅力的な施設になると良い。九州の博物館や文書系博物館は連携が進んでいる。

参加者 E：ガイドボランティアとして、文化財ウィークに実物資料をどこに展示しているかよく聞かれる。文書系は年中見せられないが、できるだけ実物を見られる環境や展示会方法があると良い。また、導入・シンボル展示は重要。現資料館も展示室の手前に展示ケースがあるが、新たな施設にもあると良い。

参加者 F：新たに協創機能を取り込むのであれば、運営面で公園や憩いライブラリとの調整が必要と考えるが、調整の機会は無いか。

事務局：公園は、現在都市計画部でどんな公園にするかを今年度検討しているが、防災機能以外は詳細未定で、年度末にある程度決まる予定。

参加者 A：先日、旧稲荷山小学校と教育センターで多くの資料を見て、改めて誇りを持った。収蔵エリアは一元化し、見学もできると良い。

座長：収蔵エリアは集約する方針か、分散のままか。

事務局：現在は集約する要望を出しているが、市の内部からは、外部に収蔵場所があれば、新施設には他の体験スペースを整備しては、と意見も出た。できる限り今後の寄贈や収集に対応できる規模を確保したい。

参加者 G：調査研究エリアの欄に整理作業室があるが、作業を見学したいと良く要望が出るらしい。見学コースを設けては。また、民俗関連資料スペースがあるので、収蔵しながら解説付きで見せれば、学芸員が説明せずに済む。

座長：これまでも収蔵展示室などが作られたが、あまり成功した例が無いので、イベントとして裏側を見せることも考えられる。いずれにしても、収蔵資料を活用できる収蔵庫になると良い。

<p>会 議 の 内 容</p>	<p>座長：収蔵展示が成功している施設はあまりないので、裏方見学イベントとして対応する方法もある。</p> <p>参加者 G：博物館とは直接関係無いが、遠方から車で訪れる人のために、駐車スペースはあるのか。</p> <p>事務局：現在は近隣に民間駐車場は無いので、公園敷地内にある程度は計画する予定。</p> <p>副座長：今後、市内の小中学校統廃合に伴い、校舎が空くので、収蔵スペースに活用できれば、敷地内で展示や協創の場が確保できるのでは。</p> <p>参加者 H：廃校になる校舎をあてにするのは危険なので、やはり本体にそれなりの収蔵スペースと、他にも確保することが重要だと思う。</p> <p>座長：色々な意見が出たが、4章では、市民参加・協創エリアや収蔵資料の特色づけ、学校団体利用スペースなどを述べてはどうか。</p> <p>&lt;(3)整備基本計画目次構成について&gt;</p> <p>事務局より、整備基本計画目次構成案を説明。</p> <p>座長：運営についても検討するのか。</p> <p>事務局：まだ決定ではなく、メリットやデメリットを検討したい。</p> <p>参加者 E：来年の市制 100 周年に建物の青写真を出したいと前に聞いたが、スケジュールはどうなるか。</p> <p>事務局：市制 100 周年の頃にイメージ図を出すには、基本計画の 1 章の内容を決めることが重要。建物は決まらないので、内部の展示などの素案を出す。来夏前に 1 章の内容を固めたい。年度末までに基本計画ができるよう、計画的にこの会議を開催する。</p> <p>参加者 I：第 2 章の 2 敷地概要のところでは、敷地全体を示し、その中のどこに郷土資料館が位地するか示すとよい。また、次項 3 の全体構成のところでは、敷地内に建設される全施設を記載し、それぞれの施設と郷土資料館の連携について付記できるとよいと思う。</p> <p>参加者 B：それほど重要な話をこの検討会で協議するのは重いので、場合によっては個別の専門分科会開催や委員の補強をしては。</p> <p>事務局：専門家に声がけすることも検討する。</p> <p>参加者 H：イメージ図は、都市計画課も出すのか。</p> <p>事務局：都市計画課がイメージ図を出す予定は無いが、将来財務省から土地を購入する際、敷地構成図を出すと思う。</p> <p>参加者 G：基本計画もパブコメを実施するのか。</p> <p>事務局：基本構想で実施するので、基本計画では行わない。</p> <p>&lt;(4)市民アンケート・ヒアリング実施方針について&gt;</p> <p>事務局より、アンケート・ヒアリング実施方針と小学 6 年生に対するアンケート用紙構成案を説明。</p> <p>副座長：アンケートでは、自由記述欄を大きくして欲しい。また、</p>
------------------	---

<p>会議の内容</p>	<p>誰と一緒に資料館に行ったかの選択肢に「学校で先生と一緒に」があると良い。新資料館で体験したい内容では、資料の研究とレプリカ作りを分けた方が良い。あると良いスペースとしては調べ学習スペースとライブラリーの区分が分かりにくい。</p> <p>参加者 I：生徒が授業で行ったか、家族で行ったかを区分する必要があるのでは。授業で行ったことも含めていったことがあるかを訪ねては。</p> <p>副座長：中学生にはアンケートを行わないのか。</p> <p>事務局：1 番のターゲットは小学生の年代で、来館を習慣づけたい。そのため今回は小学生を対象とする。</p> <p>参加者 B：八王子は中心部が空襲被害にあったので、したい体験の選択肢に空襲体験を加えては。</p> <p>参加者 A：自分が子どものとき、こども科学館と高尾森林博物館には何度も行った経験から、見たい展示の選択肢に虫や動物の項目を加えては。</p> <p>座長：したい体験の選択肢に、専門の学芸員から話を聞く、同行の仲間を作る、などを加えては。</p> <p>参加者 E：ヒアリングで、協創機能を発揮する質問項目を加えては。資料館でどういうことをやりたいか、運営にかかわってみたいか、など。</p> <p>副座長：毎夏小学校で無料入場券を配るため、好きな博物館や美術館の記入欄には、東京富士美術館が多く挙げられるのでは。</p> <p>座長：今後、内容を確認する時間は無いので、項目等は事務局にお任せする。</p> <p>&lt;(5)その他&gt;</p> <p>事務局：基本構想第 1～3 章の内容についてはどうすれば良いか。</p> <p>座長：資料館側で第 1 章の冒頭部分の修正が出来次第送ってもらい、次回検討会での協議とする。</p> <p>事務局：今後は、皆さんから 11～2 月までの日程調整表のお返事を 10/27（木）までに頂いた後、施設見学会と検討会を開催することを考えている。検討会は 2 月に開催する可能性が高い。</p> <p>座長：これにて第 4 回検討会を閉会する。ありがとうございました。</p>
--------------	--